令和２年２月１３日

社会福祉法人いずみ　ひまわり（児童発達支援）

令和元年度 ひまわり（児童発達支援）　自己評価に対する検討結果

アンケート実施期間：令和元年 11 月

	アンケート結果	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	保護者より ・職員配置や専門性について、「PT･MT の活動が少ないのが残念。」「わからない。」などの意見が２名あった。	・PT は、基本的には毎日一コマは入っているが、来年度はコマ数を増やし、訓練の頻度を増やしていく予定。 ・MT は月２回、日程調整の段階で、できるだけたくさんの利用者が参加できるように調整していく。また、保育士による音楽遊びも積極的に取り入れていく。
適切な支援の提供	保護者より ・「季節に合った遊びや行事への取り組み」についての希望が１名あった。 ・「障害のない子との交流の機会が少ない。」「交流をして、障害のある子を知ってもらう必要性がある。」などの意見が、半数以上あった。	・季節に合った遊びや制作、行事など積極的に取り入れるよう今後も心がけていく。 ・保育園との交流は、感染症の流行や利用時間帯、活動の内容などから難しいところもあるが、今後利用者のニーズを把握しつつ、実施について検討をしていく。また、法人内のあゆみの家幼児部とは、交流を増やしていけるよう検討していく。
保護者への説明責任等	保護者より ・保護者に対して家族支援プログラムが行われているか？に対して、「どちらともいえない」「いいえ」が３名あった。 ・保護者からの相談や申し入れに適切に対応されている	・保護者からの相談等は、日々通所されている時間帯や、連絡帳、個別支援計画の面談等を通して行っているが、今後より意識的に行っていく。その後の経過や結果などの確認も併せて行っていく。 ・保護者同士の連携を支援する為、母子通園、お茶会、父母療育、保護者会等を行っている。今後も継続して実施すると共に、通所時に保護者同士で話せる時間を作る等していく。 ・保護者からの相談や申し入れに対して、対応についての検討、職員間での情報共有、保護者への解答や理解の確認など、その都度丁寧に行っていく。

	か？に「どちらともいえない。」や「わからない」などの回答が３名あった。 ・保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮の点で、「たまに欠ける時がある。」との回答が１名あった。 ・「ホームページが生かされていない。」との意見が１名あった。	・保護者へ伝達すべき情報については、必要に応じて書面やメール配信を検討するなど、混乱を招かないよう配慮していく。 ・ホームページは再更新または変更の予定あり、今後充実した内容を心がけていく。
非常時等の対応	保護者より ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施しているかに対して、「いいえ」または「わからない」の意見が半数以上あった。 ・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているかに対して、「どのように行っているか不明。」「参加していないからわからない。」などの意見が複数あった。	・マニュアル等に関しては策定しているが、定期的な確認や更新等が行えていない物もあるので、適宜更新を行っていく。 ・防災訓練については、隣の生活実習所と合同で、消防訓練を消防署立会いの下実施した。そのほか、建物事業所合同で防災訓練を実施予定。今後、実施した際、訓練の内容を通信等で報告していく。 ・今後も、災害に合わせた訓練を計画し、実施していく。 ・現在、事業継続計画作成中で、備蓄も計画的に行っていく。

満足度	・保護者向け自己評価表の中の子どもは通所を楽しみにしているか、事業所の支援に満足しているかの項目に対して、「わからない」「未回答」が２名あった。	・今後も、利用者、保護者とも満足していただけるような療育を提供できるように努めていく。

以上